



2016 年度合同建築・都市設計ワークショップ

Public Space Revitalization by connecting two urban axes

成果発表会

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コースは、2016年4月25日(月)から29日(金)までの5日間、パリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校（フランス）、天津大学建築学院（中国）と合同で、「Public Space Revitalization by connecting two urban axes」をテーマに分析・提案する合同建築・都市設計ワークショップを開催します。本ワークショップは3大学の大学院生を対象とするものですが、最終日の成果発表会は一般公開しますので、是非、ご来場下さい。

**PARIS
VAL DE
SEINE**
ECOLE NATIONALE SUPERIEURE
D'ARCHITECTURE

日時 : 2016年4月29日(金) 16:00~18:00
場所 : 名古屋大学環境総合館レクチャーホール
<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/contact/map.html>
使用言語 : 英語（通訳なし）
問合先 : 名古屋大学大学院環境学研究科 小松 尚
(E-mail : c42719a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp)
その他 : 参加無料、事前申込不要

2016 年度ワークショップの概要

■目的

本ワークショップは、名古屋大学建築学コースとパリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校、天津大学の修士課程学生を対象に、異なる文化的背景を持った学生同士がコミュニケーションを取りながら一つの建築・都市デザインの提案をまとめる機会として2009年から開催しています。本年度は昨年度と同様、名古屋の都心の特徴付ける2つの都市軸（久屋大通と新堀川）をつなぐエリア・敷地（右図）を対象に、公共空間や商業・居住空間の整備、新堀川を活かした水と風の道のデザイン、減災等をテーマに、建築・都市デザイン提案を検討します。

■対象と求められる内容

久屋大通公園と新堀川という2つの都市軸の接点となる本WSの対象エリアには、フリエや堀留水処理センター、公営住宅、中学校など公共施設が集積し、公共空間として有機的につなぐための条件が整っています。同時に、都市スケールと建築スケール両面の特性に応じた地区スケールの計画が重要となります。参加学生は7つのグループに分かれ、導入講義の後、対象エリアを現地踏査した上で、建築・都市デザイン提案に向けた協働作業を行います。

■担当教員

- ・小松 尚（名古屋大学大学院環境学研究科建築学コース・准教授）
- ・宮脇 勝（名古屋大学大学院環境学研究科建築学コース・准教授）
- ・Boris WELIACHEW（パリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校・教授）
- ・Marc TABET（パリ・ヴァル・ドゥ・セヌ国立高等建築学校・教授）
- ・鄭 穎（天津大学建築学院建築学系 中国文化遺産保護国際研究中心・副教授）
- ・何 捷（天津大学建築学院風景園林学科 副教授）

（本ワークショップは、この他、名古屋大学建築学教室の全教員の協力を得て実施されます。）

■過去の本ワークショップの様子

